

「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科) (1/4)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	5	36%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	2	14%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	7	50%
D	大学院修了という学歴がほしいから。	0	0%
E	将来に不安を感じたから。	0	0%
F	時間に余裕が出来たから。	0	0%
G	その他	0	0%
G:理由			
-	-	-	-

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	3	17%
B	先輩	5	28%
C	学内での説明会	4	22%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	2	11%
F	本学ホームページ	4	22%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	5	42%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	0	0%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	1	8%
D	課題の発見に関する研究	1	8%
E	課題の解決を目指す研究	4	33%
F	実践的応用に関する研究	1	8%
G	その他	0	0%
G:具体的内容			
-	-	-	-

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	5 (71%)	2 (29%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	0 (0%)	5 (71%)	2 (29%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	1 (14%)	6 (86%)	0 (0%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	4 (57%)	3 (43%)	0 (0%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	1 (14%)	0 (0%)	4 (57%)	2 (29%)

「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科) (2/4)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	0	0%
1～2科目	4	57%
3～5科目	0	0%
6～10科目	0	0%
11科目以上	3	43%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	7	100%
B	ない	0	0%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	0	0%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
法M1	税法特殊研究	分からないことを、とことん調べて追求すること
法M1	労働法持論、税法特殊研究	自分で判例研究をして、発表したり、意見を言い合ったりすることが、修論を書くうえで、基礎となったと思います。
法M1	税法特殊研究 I	税法の授業だから
法M2	税法特殊研究 II	税法の解釈について役に立つと思った。
法M2	税法特殊研究 II	修士論文の作成に直接アドバイスなどをいただけるからです。
法M2	税法学	現在の職業に関係のある内容
法M2	税法特殊研究	税法への理解が深まる

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	1	14%
B	ない	6	86%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	0	0%

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。

法M1	憲法特論 I	憲法の知識は身につきますが、学部の授業をそのままやっている感じで、これがどう修士論文を書く上で役に立つのかと聞かれるとわかりませんでした。聞くだけの授業はしんどいです。
-----	--------	--

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	7	100%
B	満足していない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	0	0%

「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科) (3/4)

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ) 該当なし

-	-
---	---

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	5	71%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	2	29%
	無回答	0	0%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

--	--

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	5	71%
B	満足していない	2	29%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	0	0%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

法M1	パソコンの待ち時間が遅いこと。プリンターで両面印刷をするときすぐにつまって使い物にならないこと。
法M1	自習室等の使える時間を1時間延ばしてほしい

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	6	86%
B	たまに利用している	1	14%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	0	0%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

法M1	製本のために雑誌が長期間閲覧できなくなるのは困ります。沖国にあるものを、沖大までわざわざ印刷しに行きました。どうかして下さい。
法M2	大学の入試試験等でも施設を利用できるようにしてほしい。
法M2	13号館を24時間とまでは行かなくとも、せめて深夜1時頃までは開けてほしい

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	1	14%
B	行っていません	6	86%
C	過去に経験があります	0	0%
	無回答	0	0%

「2017年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科) (4/4)

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	1	14%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	6	86%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

法M1	人に説明することで自分の理解にもつながるから。
-----	-------------------------

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	1	14%
B	してみたくない	3	43%
C	どちらでもない	2	29%
	無回答	1	14%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

法M1	仕事があり、サポートすることが不可能であるため。
法M2	仕事をしているので、時間の調整が可能であれば、経験したい。
法M2	内容があまりわからないため。
法M2	現在の仕事で満足しているため時間がない
法M2	魅力がわからない

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	1	14%
B	知らない	5	71%
C	興味がない	1	14%
	無回答	0	0%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	0	0%
B	たまに利用している	0	0%
C	全く利用していない	5	71%
	無回答	2	29%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	0	0%
B	たまに参加している	0	0%
C	全く参加していない	5	71%
	無回答	2	29%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

法M2	駐車場の利用が、平日不便である(学部生と共同)。
-----	--------------------------